

## 西成特区構想を考えるシンポジウムにおいて寄せられた主なご意見・ご質問について

概要	寄せられたご意見・ご質問	顧問からの回答
有識者座談会の構成	有識者は学者ばかりで住民の面倒を見ている町会長や各種団体の長も入れてほしい。また、女性が入っていないのではないか。	座談会は、特別顧問の政策立案を各専門分野からサポートすることが目的であり、政策調整の場ではありませんので、学識経験者を中心とした構成にしております。なお、候補者にも女性がおりましたが、先方の事情により見送った経緯もあります。また、座談会のゲストスピーカー（発言者）、オブザーバー（意見参考人）として何人かの町会長や各種団体の長や女性の方をお呼びして、ご意見をお聞きして参りました。
都構想との関係	西成特区と大阪都構想の関連を知りたい。西成特区の前に大阪都構想ありきなのか。それとは全然別途に進めていくのか。	特区構想の目的は西成区における様々な諸問題を将来的に集中的に解決していくことにありますので、大阪都構想と必ずしも矛盾するものとは考えておりません。今回提案された事業が継続的に進められることが大事だと考えております。
特区の意義	将来の不安は、西成だけの問題ではない。大阪全体の問題である。なぜ、西成だけ特区にするのかわからない。	特区構想とは大阪市全体の問題解決を西成区で先行的に行うという解釈であり、今後、西成区で行った施策の多くは、全区に広げて行くことができると考えております。西成区を特区にする理由は、特に多くの課題が集中しているからであり、その問題解決を先行的に行うことにより、大阪市全体の問題解決を進める「モデル」になり得ると考えております。
特区の範囲	西成特区とはあいりんだけの問題でしょうか。9割方あいりんの話ばかりでした。西成特区と言いつつ多くはあいりん対策となっているのではないのでしょうか。	困難な課題を集中的に解決するという特区構想の趣旨から言って、どうしてもあいりん地域の対策が多くなりますが、全てがあいりん地域の対策というわけではなく、西成区全体の対策も数多く含まれておりますので、ご理解をいただければと思います。
需要創出策	大学誘致、観光産業振興等、新しい需要を創出するには、ますます治安が危ぶまれる。ひとつひとつの施策を切り離して考えるのではなく、連動させて、何より治安・環境面に重点をおいて考えてほしい。治安環境が良くなれば、自然に人は集まると思う。	ご意見をいただいた通り、何を行うにせよまずは治安や環境問題の解決を先行すべきであり、短期集中的な問題解決を行うべきと考えております。報告書もその方向性で提言をします。
イメージアップ	西成区のイメージアップのため、西成区に拠点のある、大阪フィル・セレッソ大阪・関西芸術座等をPR、援助してほしい。	今回の報告書には、ご指摘の意見も反映したいと思っております。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。
国際観光	海外よりの旅行者（バックパッカー）を含めて、誘致については進めて行く事は良策だと思います。グローバル（ユニバーサル）な大学を安い賃料で誘致し、旅行者、留学生、大学生の交流を。	ご指摘を踏まえた提言を、報告書として公表したいと思っております。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。
教育パウチャー	子育て、教育施策について、中学生に対しての塾のクーポン券の発行をどのような条件を満たせばうけられるのでしょうか。沢山の人がうけられるとしたら学力アップにつながり、西成区のグレードもアップすると思います。特区としての教育施策をお聞きしたい。	現在、実施されている塾代助成は、西成区内で就学援助を受けていたり、生活保護を受けている世帯の中学生という条件となっております。これをもっと広げるような施策を報告書で提言をし、補習塾の夜スペなども新たに提言していきます。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。
子育て流入策	今の状況では子育て流入は難しい。西成の治安を改善しなければ居住区には選んでもらえないと思う。	ご指摘を踏まえた提言を、報告書として公表したいと思っております。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。
子育て流入策	子育て支援も大切ですがその前に若い世代が結婚しやすい環境作りし、初めて出生率もあがるのではないのでしょうか？30～40代の独身男女が多過ぎます。市や区で出会いのイベントとか企画してあげてください。	若い世代の呼び込み策や、出生率を上げる施策については、報告書でも触れたいと思っております。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。ただ、出会いイベントという発想はありませんでしたので、参考にしてみたいと思っております。
子育て流入策	子育て世帯の流入をすすめて行くとのことですが、自立世帯ばかりでなく、保護受給する世帯ばかりが流入してくることも考えられるが、その点についてはどう考えているのか。	具体的な子育て世帯の流入策は、もともと市民税や保育料が減免されている世帯にはあまり誘因とはならない施策案となるかと思っております。また、困難なご家庭が流入する際の施策の提言も考えています。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。

## 西成特区構想を考えるシンポジウムにおいて寄せられた主なご意見・ご質問について

概要	寄せられたご意見・ご質問	顧問からの回答
小中一貫校	今宮中学校区の小学校統合について。高い学力でなく、生活力を高めるとの事ですが、現在は出来ていないと思われるのでしょうか。子供達は、地域で礼儀正しく、育っているように思います。地元の子どもたちをしっかりと見ていただきたいです。	報告書では、生活力を高めると言うことだけではなく、それぞれの習熟度に合わせて学力を高めて行くということも、提言したいと思います。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。
小中一貫校	小、中一貫教育は素晴らしい取り組みですが、あいりん地域をどうしようと考えていますか。環境が整わないと子供を通わず事に不安です。今宮中、弘治小、萩之茶屋小のスーパー一貫校についての環境整備の進め方を知りたい。	ご指摘の点については、高いプライオリティ(優先順位)をおいて施策を進めて行きたいと思えます。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。
日雇い市場	日雇い(あいりん)に対して問題視されるが、あいりんを必要とし、利用する事が今のこの国を作り上げたのでは。根本が理解できていないのでは。西成に育ち、働き、生きる人々の本音をもっと聞く事が必要です。	ご意見として承らせていただきました。また、有識者委員や座談会のゲストスピーカー(発言者)は実際にこのまちで生きている人々が多く、地に足のついた議論を行ってきたと思っております。報告書にもそうした視点は十分に含まれると思えます。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。
日雇い市場	寄場機能は貴重な財産なんですか。	寄場機能自体というよりも、寄場の管理機能や相場形成機能を貴重な財産として考えております。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。
生活保護	生活保護不正受給者が多いように思えます。朝からコーヒーをのみカラオケに行ったり年金生活の我々にくらべたら、めぐまれすぎております。入院した場合は入院した日数に応じて生活費を返還するようお願いしたい。月末に入院してなかったら全額うけとると言うことはおかしいと思えます。	重要なお指摘だと思います。西成特区構想というよりも、市政全体の政策として、検討する課題であると考えております。
生活保護	私自身が保護受給者の立場として記します。保護受給者が自活するのはむづかしく、今後も増加するものと思えます。これらを減少させる事を考えるのではなく保護受給者を、ボランティア活動に参加させる、又はそれを発展させ新たなNPO団体を立上げる道を開いてはと思えます。子育て、教育施設から治安に至るまで多くの分野に高齢者のボランティア分野への参加は可能と考える。	報告書の提言では、ご指摘の点について、具体的な施策が含まれると思えます。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。
生活保護	現在の生活保護の医療費については大きな課題となっております。今後一割負担という考え方はどうか。わずかな年金ぐらしの人でも、1割負担をしているが現状である。	医療扶助の自己負担は、西成区だけで行える施策では無く、国政レベルの施策と考えています。報告書では、西成特区構想で行える改革を提言したいと思います。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。
野宿者対策	野宿者や生活保護者の背景にある貧困の問題は、短期集中的な対処ではとても解決できるものではない。「自立支援」でまともな仕事につける保証がどこにあるのか。行政らしく、区民の最低生活をどう守るかをまず考えるべきであり、生活保護を無理矢理減らすのではなく、むしろ増やして経済的な下支えを強化すべき。	問題意識は共有しております。今回の報告書も、生活保護を無理やり減らすような視点はありませぬし、経済的な下支えという視点も含まれます。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。
野宿者対策	野宿者についても、仕事をしていたいからあえて生保を受けず野宿を選ぶ方もいます。仕事も、日雇いの力仕事を好まれる方が多く、そんな人に座っての事務係は難しいと思えます。仕事を作るといっても、それに就いてくださるかは分かりませぬ。	野宿者の生活安定策、西成特区構想における生活保護改革については、報告書でもいろいろ提言したいと思います。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。
流入者対策	あいりん地区に居住している人たち(野宿含む)は大半が西成区出身の人ではないので、今いる人たちに対する対応だけでなく、今後流入する人に対する対応も必要だと思うが、何かあるか？対策がとられ、支援があると、それを目当てにした流入者増える。	報告書では、ご指摘の点について、具体的な施策の提言が含まれます。流入ばかりが増えることにはならないような対策を考えています。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。
流入者対策	移入者、野宿者対策については国の経済対策の無策が西成区に集中している様に思えます。西成区だけの問題としてでなく、大きな目で対策を立てなければ改善できないと思えます。勤労意欲を持たせる様にしないとイケないと思う。流入者と在住者とを別の問題として考えなければいけないと思う。	ご意見として承らせていただきました。報告書でも、西成特区構想で可能な施策は提言したいと思います。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。
流入者対策	労働対策を各区で取り組んでも、他の市から流入してくるのではないのでしょうか。他の区ではなく他の市との関係は整理できないのではないかと。	ご意見として承らせていただきました。流入をどう防ぐかという点も重要ですが、流入した人々が自立して生活困窮者で無くなり、場合によっては流出するという視点も同時に重要と考えております。今回の報告書では、両方をにらんだ対策を提言したいと思います。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませ。

## 西成特区構想を考えるシンポジウムにおいて寄せられた主なご意見・ご質問について

概要	寄せられたご意見・ご質問	顧問からの回答
結核対策	ジンバブエ(アフリカ)と同じ位の発生率だというあいりん地域について、患者まかせでなく、毎年1回、検診をうけるためのシステムをもっと考えてほしい。(もちろん、ホームレスを含めて)	報告書の提言では、まさにご指摘の点について、具体的な施策が含まれると思います。年1回どころではない抜本的な施策が提案されます。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませければ幸いです。
結核対策	結核問題については、あいりん地区だけの問題ではなく、患者がいる以上、感染の問題、心配は大きいと思います。あいりん地区のだけに対する対策だけでなく、区民全体への予防等の対策を考えてほしいです。(医療機関での検診助成など)	ご指摘を踏まえた提言を、報告書として公表したいと思います。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませければ幸いです。
地域医療	小児科がほとんどない現状では子育て世代は入ってこない。公立病院、診療所の設置拡充と産科、小児科の充実を。	医療機関の充実と産科の誘致などについては、今回の報告書でも提言を行います。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませければ幸いです。
地域医療	結核だけでなく、覚醒剤・脱法ハーブ等の依存・アルコール依存がもっと多く、重大な医療問題だと思えます。また、就労支援が強力に必要なのは、発達障害を含めた精神疾患・障害の方だと思えますので、それも含め社会医療センターを拠点に、ぜひ身近で受診できるよう整備していただきたいと思えます。	ご指摘を踏まえた提言を、報告書として公表したいと思います。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませければ幸いです。
環境	あいりんの隣に飛田新地があるが、どうするのか。	まずは、あいりん地域を中心とする課題解決を進めてから、改めて検討していきたいと考えております。
防犯	照明、防犯カメラは多数お願いしたい。学校の廻り、夜は暗い。通る時は気持ち悪い。	ご指摘を踏まえた提言を、報告書として公表したいと思います。詳細については有識者座談会報告書をご覧くださいませければ幸いです。
防犯	街は環境づくりから。街を防犯灯で明るくすると犯罪は減少する。街の整備から始めるべき。	LED街灯でまちを明るくすると言う点は、今回の報告書でも提言したいと思えます。詳細については有識者座談会報告書をご覧くださいませければ幸いです。
あいりんセンター	あいりん総合センターは必要です。宿所等は、施策を提示して行う事が重要と思う。	ご意見として承らせていただきました。あいりん総合センターについては、必要性が高いという認識を提言で示すつもりでおります。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませければ幸いです。
あいりんセンター	日雇市場が急激に減少するなら日雇市場の場であるあいりん総合センターを建て替える理由は何ですか。日雇市場があるからこそ新規の日雇や生活保護の方が流入することになるのではないですか。街の性格がどのようなものを目指すのかがよくわからないので、教えてほしいと思えます。	ご意見として承らせていただきました。日雇労働市場の必要性、建て替えの必要性などについては、今後も議論をして行くことになっております。今回の座談会ではそのたたき台となる方向性を打ち出したという位置づけになります。方向性の理由や詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませければ幸いです。
未利用地	北西部を中心に、区内には多くの未利用地があるので、これを活かしたまちづくりを進めてほしい。環境技術の発達した今日なら、製造業を含む生産拠点を誘致して、大規模な雇用を創出する事が最も有効な子育て世代の流入策になるのではないのでしょうか。	未利用地の利用については、今回の報告書でも諸提言をまとめます。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませければ幸いです。
未利用地	未利用地の利用、住宅地内以外の未利用地を農園にする。作物を作る事により、憩いの場として活用するなど。	ご指摘を踏まえた提言を、報告書として公表したいと思います。詳細については、有識者座談会報告書をご覧くださいませければ幸いです。